

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三三・四七・七二
毎週一回発行

新年のスタートは初詣宣伝で 2018年 飛躍の年に

1月2日、日本共産党豊田市委員会は恒例の挙母神社前での初詣宣伝を行いました。
もとむら伸子衆院議員、大村よしのり、根本みはる両市議、本多のぶひろ市議選予定候補と豊田市委員会の20人余が参加して、新年のあいさつと決意を述べました。
「豊田市では、防災ラジオの

実現、学校の教室へのエアコン設置の方向性を示すなど、市政を前進させました。来る統一地方選挙で、県議会の議席挑戦と、市議会2つの議席実現で、市民の暮らし優先の政治に」との訴えと、全力で頑張る決意が述べられました。
沿道からは、手を振っての声援が送られました。

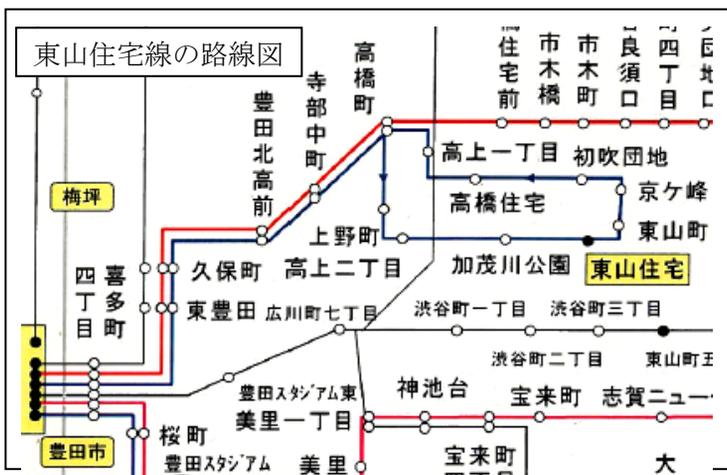


名鉄バス・東山住宅線と九久平線 4月で廃止?!利用者どうなる

名鉄バスは、昨年12月25日、東山住宅線と九久平線を今年4月に「廃止」することを、豊田市公共交通会議で提案し、今後、市と協議をおこなない、廃止時期を調整するとしています。この路線は、長年、通学や市街地へ行くバスとして利用されてきたことから、東山町・京ヶ峰・初吹・高上・神池町・泉町・松平の地域や利用者への影響は計り知れません。
特に、車の運転をされない方や、高齢から運転免許証を

返納された方にとって、バスは唯一の交通手段となっています。4月のバス路線の廃止によって、生活に大きな影響を及ぼすことの無いよう、廃止時期の延期を願う住民から声が上がっています。
豊田市は、「公共交通は社会資本」と位置付け、基幹バス(おいでんバス)、地域バス(鞍ヶ池バス・松平ともえ号など)の路線の整備を行ってきました。利便性の向上のために、バスを増便した地域もあります。

地域住民でつくった「おいでんバスの拡充を求める会」と根本市議は、市への要望として、路線の存続と廃止時期の延期を名鉄に要請し、廃止路線の代替として、おいでんバスの路線を拡充するよう求める要望書を集めています。



2018 新春のつどい

とき 1月14日(日) 午後2時から
(開場 1時30分)

ところ 豊田市福祉センター

主催 日本共産党11区委員会・豊田市後援会・みよし市後援会

ぜひ、お越しください



もとむら伸子衆院議員



本多のぶひろ市議選予定候補



大村よしのり市議



根本みはる市議



牧田みつお市議

1・3

安倍9条改憲NO！ 署名の呼びかけに多数署名

豊田革新懇が主催する今年最初の「アベ政治許さないスタンプディング」が、1月3日午後1時から市駅東口で行われ、安倍9条改憲NO！全国市民アクション3000万署名が訴えられました。

この日は、お正月休みでもあり、家族や友人同士で行き交う人々から、約1時間で58筆の署名が集まりました。中には、訴える弁士の話を立ち止まっ



豊田市民による署名行動は、3日午後1時から2時、19日午後6時からです。

戦争法廃止を求める
豊田市民の会: 宣伝
1月19日(金) 午後6時~

豊田革新懇: 宣伝
2月3日(土) 午後1時~

豊田地域原水協
被爆者国際署名: 宣伝
1月21日(日) 午後1時~

12月議会報告

大村市議が、教育委員会での対応を提起 先生が足りず、産休・育休がとれない

NHKの報道番組で「今、全国の公立の小中学校で『先生が足りない』という異常事態が起きています。」という内容が放送されました。報道では、「通常、病気や産休などで欠員が生じた場合、『臨時採用』の教員で補充するんですが、その確保ができなくなっている」という事でした。

豊田市内でも、同様の事態が起きていて、校長会でも問題になっていました。

12月議会で日本共産党の大村よしのり市議がこの問題を取り上げ、「先生が足りない」という現状を数字でも確認しました。大村市議は、対応を学校現場まかせにせず、教育委員会として対応する事が必要だと提起しました。

12月議会

「請願」障がい児・者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を

12月議会提出の請願書に対し、賛成は大村・根本・岡田市議で、他の会派は反対しました。大村市議の賛成討論の一部を紹介します。

障がい児者の現在の障害福祉施策は、居宅サービスはもちろん、グループホームや入所施設などの社会資源の絶対的不足が慢性化しており、結果として多くの障がい児者が家族の介護に依存した生活に余儀なくされています。家族に依存した生活の長期化は、精神的にも経済的にも相互依

存をより助長し、障がい児者の自立をますます困難なものにしています。

2014年度に障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会がおこなった「障がい者の介護者の健康に関する実態調査」で障がい児者と家族は、社会からの孤立と家族依存、老障介護等の現実の中での生活が続いている実態が明らかになり、生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備は切実であります。

歩道の段差を解消 市役所が応対



豊田市聖心町2丁目の歩道に段差が3cmほどあり(右写真)昨年12月上旬、ジョギング中に足をくじくところでした。

それで写真を撮り、豊田市役所の道路維持課に持参し、改修を依頼。歩道の上がつている部分を削る工事は、それほど難しくはな

く、すぐ対応していただけると。12月中旬に通った時には、段差が無くなっていました(左写真)。これで安心してジョギングができます。(本多のぶひろ豊田市議選予定候補)